

「アマダ優秀板金製品技能フェア」 2年連続グランプリ

坂口製作所

アルミ・ステンレスに特化した板金・溶接・組み立て加工業者、坂口製作所（本社・大阪市西成区、社長・坂口清信氏）はこのほど、

「アマダ優秀板金製品技能フェア」（主催・アマダスクール）において、出展作品「CUBE」が組立品の部でグランプリに選出された。グランプリ受賞は昨年の「双曲面」に続き、2年連続の快挙。

アマダ優秀板金製品技能フェアは、金属加工の技術・技能を競うコンテスト。昨今、「ホッチキスキューブ」がTikTokなどで話題になっている。「ホッチキスキューブ」とは、ホッ

チキスの針を組み合わせて作った立方体のこと。

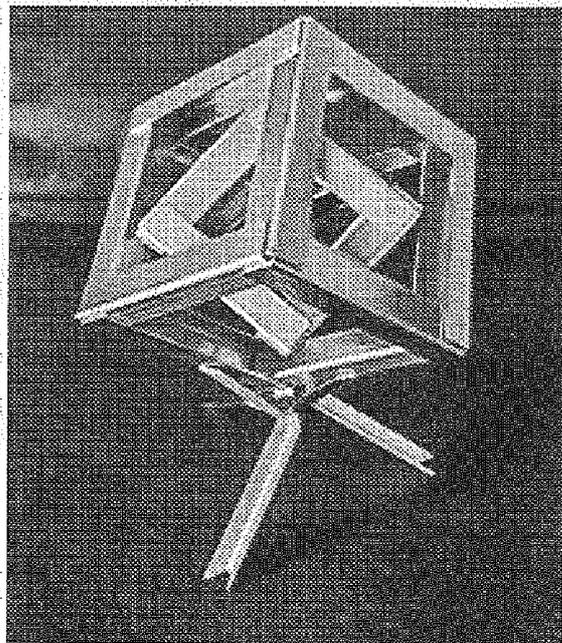
「CUBE」はこの「ホッチキスキューブ」から着想を得て、同フ

エア向けにアレンジを加えた。作品は大小二つの立方体と台座からなる。各立方体は板材をチャンネル状に折り曲げた12個のパーツか

らなる。各頂点で三つのパーツを組み合わせていくことで、立方体を形成する。

「構造自体はホッチキスキューブと同じだが、板金作品として各パーツが無理なく嵌まり、かつ外れにくくするため工夫した。素材の板厚や曲げ精度は、試行錯誤を繰り返した」（坂口社長）。

同フェアの表彰式は3月9日にアマダグローバルイノベーションセンターで開催された。



組立品の部でグランプリを獲得した「CUBE」